

# BBS会会長賞

堺市立 浜寺中学校 二年

安井 美月 姫

## 「人」との関わりで変えられる明るい未来

世の中には、詐欺、万引き、暴行などの「犯罪」や「非行」を犯した人達がたくさんいます。多くの人は、テレビや新聞、うわさなどによって罪を犯してしまった人達のことを憎み、「悪い人」と認識してしまうでしょう。しかし、犯罪や非行を犯してしまった人も私達と同じ「人」です。人は、その人生の中で、間違った道を選んでしまう事があるかもしれませんが、けれど、やり直すチャンスは誰にでも平等にあるべきだと思います。そして、そのチャンスを自分に引き寄せるためには普段から色んな努力をし、自ら掴みとる事が最大限に活かすための第一歩だと思います。私の学校では、「誰ひとり取り残さない授業づくり、クラスづくり、学校づくり」を目標に日々活動しています。

今、同じクラスに集団行動が苦手だったり、先生に反抗するクラスメイトがいます。初めは私も同じクラスメイトが歯向かう態度に少し抵抗がありました。だけど、クラスが一致団結するには誰ひとりかけてはしなくなかったし、反抗する理由が周りの環境によるものかもしれないと思ったので、みんなで声かけや何気ない

会話をしたり、普段から身近に接する事で寄りそう事ができたり、少しの変化にも気づけるように取り組んでいます。時間はかかるかもしれないけど、日々のコミュニケーションを増やす事で私たち自身も変わっていければと思っています。

また私は、これまでの中学校生活の中で経験し、学んだ事が助け合う事やチームメイトと目標に向かって協力し合う事に、すごく役立つと思いました。私は、中学一年生からバレーボール部に所属して、仲間と協力する事の楽しさや、あいさつ、礼儀の大切さに気づけた事で、人々と良好な関係を築け、悩みを相談しやすくなりました。私をはじめ、人々の理解が深まることで、犯罪や非行のない地域社会づくりに関係してくると思います。

なぜなら、ポジションを任される責任感で自分が今、立っている場所で何が出来るか考えて行動する力が身につくようになるし、バレーボールでは、チームメイトとの連携や判断力も身につく学べます。自分の考えや気持ちを周りの人に伝えられるという事は、心の居場所を見つけて、一人で悩まず自己肯定感を高めることが

出来るということだと思います。他にも、チームメイトと目標に向かって協力し合う、助け合う、その大切さを知る事ができます。そして、周りに自分を評価してくれる「人」がいるということは、それだけお互いの良い所や悪い所を見つけてもらえたということだと思います。私も、もちろん褒めてもらえた時はすごく嬉しくて、モチベーションもあがるし、逆に注意されると、くやしなくてもっと頑張ろうと思えたり向上心がわいてきます。反抗してしまうクラスメイトも、きつと注意されるとイライラすると思うけど、一度立ち止まって少し考える時間を作る事で相手の立場に立って考えて行動できると思います。それから、もっと人との関わりを大切にし、お互いを尊重する事で優しさを共有できる明るい社会に繋がると思います。

